【緊急アンケートのお願い！第2弾】

コロナ対策 何が必要？

国の二次補正予算57億円が堺に

めぼしいコロナ対策が打ち出せていない堺市。原因は様々挙げられますが、自由に使える財源に乏しいのも、その一つ。6月に成立した国の二次補正予算で、約57億円が堺市に交付されることとなり、臨時議会や8月議会でその使いみちが議論されます。私も仲間の議員と、市長に25項目の要望を出しています（中面参照）。今後、コロナ禍の長期化によっては、三次補正予算や、堺市としての更なる追加対策が必要となるでしょう。

そこで聞かせてください！

■質問①：堺市のコロナ対策への評価は？
評価している？ していない？ わからない？
できればその理由も教えてください。

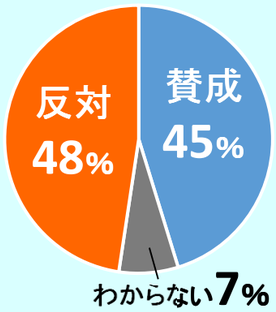
■質問②：今後の堺市の対策の重点分野は？
個人への経済支援？ 事業者支援？ 保健衛生？
教育？ 文化振興？ その他？ またその理由は？

■質問③：希望する具体的な取り組みは？
例えば…、〇〇への現金支給、△△の配布、
■■への相談窓口の設置等々

アンケートは下記のご意見欄（ＦＡＸ）か、メールでご回答ください。匿名で結構ですが、連絡先をご記入頂けましたら、必ず返事します。予算そのものは市長が作りますから「ご意見を頂いたら実現する」というわけではありませんが、議会活動の参考として必ず役立て、積極的に提案して参ります。

【第１弾のご報告】

ザビエル公園のパークＰＦＩは賛否拮抗！



公園にカフェ等の民間施設を誘致し、その賃料で公園の維持管理費を賄い、公園の魅了向上にも繋げるパークPFI。堺区のザビエル公園が導入候補となり、前号でその賛否をアンケート調査させてもらいました。42件の回答を頂き、結果は左の通り、賛否が拮抗しました。一方、賛成の中にも、「広場は維持してほしい」「駐車場はいらない」という意見が多くありました。私自身はパークPFIという制度そのものには賛成（選択肢としてアリ）ですが、ザビエル公園には適さないと思っています。広場の縮小や駐車場の設置には反対です。私の考えと、アンケート結果の詳細は、7月10日付けのブログ「パークPFIについて」に掲載していますので、ぜひご覧ください。公園という身近なテーマで、大勢の方から意見を頂き、私も大変参考になりました！本テーマに限らず、皆様からのご意見はいつでも承っておりますので、よろしくお願いします。

ザビエル公園

ご意見をお寄せください！

FAX：072-320-0103
Mail：takeshi@fuchigami.info

議員の仕事は、市民の声を市政に届けること。まずは「聞くこと」です。
皆様のご意見、ご不満、お困りごと、何でもお聞かせください。政策立案に活用させて頂きます。

お名前：　　TEL：
住所：

※匿名でも結構ですが、ご連絡先をご記入くださいましたら、必ずお返事いたします。

ふっちーのつぶやき（編集後記）

家族で「もしいつか息子が選挙に出て、私と対決したら、どちらを応援するか」という話題になり、妻はあっさり「愛する息子」と即答。慌てて娘に話を振ると、「政策で決める」。親孝行は教えられていませんが、主権者教育はうまくできているのかもしれません…。

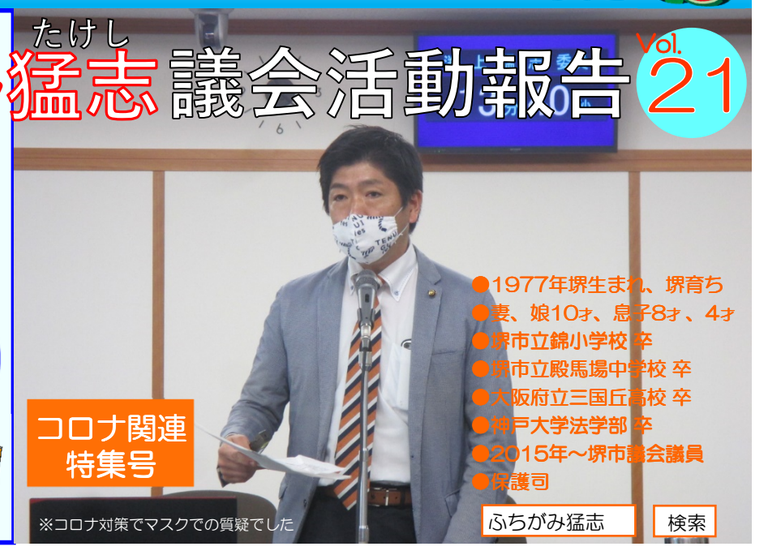
堺市議会議員（堺区選出）　2020夏号

ふちがみ猛志（たけし）議会活動報告 Vol.21

【ふちがみ猛志市政相談所】
堺区新町2-4 小山電ビル2F-A1
TEL/FAX：072-320-0103
Mail: takeshi@fuchigami.info

LINE@ はじめました。
LINE ID @osz7708b
HP
Twitter

本号のコロナ関連の記事は7月10日時点のものです。最新情報は、ブログ（ホームページ）、ツイッターでお届けしています。



コロナ対策で存在感がなかった堺市

「コロナ対策で堺市は何をやってるんや！？」

この数か月間、こんな声を何度も頂きました。たしかに、テレビ出演の多い吉村知事と比べてしまうと、目立たないのは仕方ありません。しかし、その原因がメディア露出だけではなく、堺市が大阪府・市に追従するばかりで、独自の取り組みに乏しかったことではないかと思えてならないのです。特に、市民生活に直結する、経済支援や子育て支援はほとんど見当たりません（7月10日時点）。5月議会では、各議員から様々な要望がなされましたが、「財源がない」との答弁ばかり。

通天閣等にならって、ライトアップで感染状況を報せる大浜灯台やフェニーチェ堺

不要不急の予算の見直しを

「財源がない」というのは、どこの自治体も同じです。そこで大事なのは、不要不急の予算を見直し、重要かつ緊急のコロナ対策予算に充てることです。コロナ禍の前に作られた令和2年度予算は、てっきり5月議会で見直しが提案されるのかと思っていましたが、返答は「検討中。8月議会に提案する」とのこと。その悠長な姿勢には驚かされました。また、「古墳を見渡す気球」を含む、大仙公園の周辺整備（約4億円！）は、その見直しの対象となるとばかり思っていましたが、永藤市長は着実に進めていく旨の答弁をしました。

私も「気球」を望んでいましたし、大仙公園の周辺整備は大事だと思いますが、少しくらい遅らせたところで、どうなるものでもないはずです。コロナの緊急事態において、いま優先すべきは目の前の市民生活ではないでしょうか。

言葉よりも中身のある政策を

市長は、コロナ禍の新しい生活様式として「堺スタイル」なるものを提案しました（下記参照）。また、感染状況を示す「堺シグナル」を発信しています。「大阪モデル」や「東京アラート」を真似ているのかもしれませんが、市民がいま欲しているのは、キャッチフレーズよりも、中身のある政策、具体的な支援ではないでしょうか。私はその思いで、市の追加対策を求めていきます。

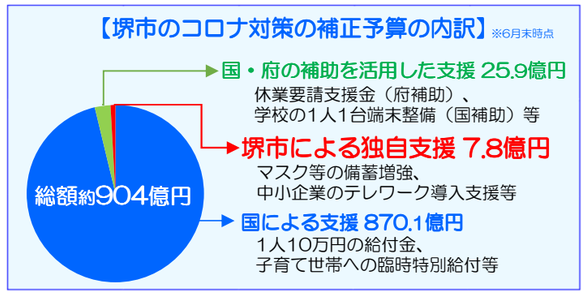
永藤市長が示した「堺スタイル」※一部抜粋

コロナ禍の永藤市政をcheck!!

以下の記事は7月10日時点のものです

堺市独自施策はわずか

コロナ禍が発生してから、6月までに6件の補正予算が成立し、数々の支援が打ち出されていますが、その中身はと言うと・・。ほとんどが、国や府が作った支援策であり、堺市独自のものはごくわずか。金額にすれば微々たるものです。



他の自治体では、お金がないなりに、ターゲットを絞るなどして、市民が実感できる支援を提供しています（以下、一例）。それらに比べて、残念ながら堺市の支援は見劣りしています。

和泉市	75歳以上に2000円のバス・タクシーチケットを配布（高齢者外出支援）
大阪狭山市	高齢者の買い物代行サービスに1回1000円を補助
松原市	ひとり親世帯に3万円給付
羽曳野市	小学校の給食を無償化
吹田市	市内小規模事業者応援10万円

堺市では6月に決定した国からの一括交付金約57億円を活用し、追加支援を検討しています（6月末時点）。そこで市長に要望しました！

遅かった10万円給付

1人10万円の特別定額給付金が届かず、やきもきした方も多かったことでしょう。堺市は給付が遅く、全国平均を大きく下回る給付率。給付の早い札幌や神戸は国の決定を見越して、入念に準備をしていたようです。追加の給付や、災害支援なども想定し、この反省を次に活かす必要があります。

【政令市（一部）の給付率】
※表は6月25日時点

全国平均	65%
熊本市	95%
札幌市	93%
神戸市	85%
京都市	24%
横浜市	23%
堺市	18%
名古屋市	7%
大阪市	3%

名ばかりの連携？

2月27日に大阪市がコロナ休校を発表し、堺市は即、これに追随することを決定。突然の発表に現場と保護者は大混乱。教育委員会は「連携してきた大阪市と歩調を合わせた」そうですが、大阪市から休校の連絡をもらったのは、発表の30分前。しかもその時、堺市の教育監が議会中だったため「大事な話なので、教育監に直接伝える」と電話を切られ、結局、堺市が大阪市の休校を知ったのは、テレビ報道の後。「大阪市との連携」を謳う割に、連絡体制と信頼関係が不十分だと明らかに。改善が必要です。

■高い感染リスクの中、社会活動維持に従事した方々への慰労金制度
保育士、ゴミ収集等を想定（医療・介護は国制度あり）

■高齢者等の買い物・お出かけ支援
和泉市、大阪狭山市等の取り組みを参考に

■スクールサポーター等、教育現場の人員増強
教室の消毒作業等の業務が増える中、教員が子どもに向き合える環境を

■公共交通機関への支援
市民の大事な移動手段を維持できるよう、コロナ禍で大打撃を受けた公共交通機関に行政からの積極支援を

■公共施設の施設利用料の減額
文化芸術・社会福祉等の市民活動への支援

■雇用確保、再就職支援
中小企業への雇用維持・新規採用助成、堺市内への新規出店支援等

仲間の議員と共に要望。
市長の聴く姿勢には期待。

など、25項目を永藤市長に要望しました。

ふちがみ猛志の委員会質疑より

子どもの心のケアを求める質疑で、まさかの虚偽答弁？

ある議員が「コロナの休校期間中（3～5月）の子どもの心のケア」について問うたところ、教育委員会は「児童・生徒及びその保護者と連携を密にし、定期的に健康状態を確認」していた旨を答弁。多くの保護者から「学校からの連絡がない」と相談を受けていた私は、「そんなはずはない！」と感じ「答弁は事実か？」と再質問。すると「3、4月は要保護、不登校の児童生徒に、5月以降は全児童生徒に」と答弁を修正。つまり、大半の子どもに対しては、3、4月はフォローなし（現場任せ）だったことが判明。公式の場で、できていなかったことを、さも「できていた」かのようにする姿勢では、問題の改善はありえません。学校再開後も子どもの心が不安定な状況は続く上、第二波への備えも必要です。これまでの間は「子どもの心のケアが不十分だった」という認識のもと、スクールカウンセラーなどの専門職の増員や、消毒作業等で業務が増えている教員をサポートするためのスクールサポーターの増員などを、強く訴えました。

教育委員会 課長

休校期間中は、子どもとその保護者と連携を密にし、定期的に健康状態を確認。

その答弁は事実か？
ー保護者として信じがたい！

教育委員会 部長

3、4月は要保護、不登校の子どもにだけ・・。
（＝大半の子どもにはできていなかった）

できなかったことは仕方ないが、それを認めることが大事。
第二波にも備え、学校現場の人員増強を！

「コロナ自粛中に麻雀？」突然の騒動で潔白示す!!

「コロナ自粛中に職員と議員が麻雀をしていたのでは？」と、維新の議員が議会で取り上げ、それが一部メディアで報道される騒動がありました。その後、議員総会で真相究明が図られ、名前を挙げられてしまった私は、「その日は別の場所で、別のことをしていた」と、多数の証言・証拠を提出し、**「麻雀をしたという事実は確認できない」旨の結論**が出されました。当然の結果とは言え、ホッと一安心です。しかし、地域紙の泉北コミュニティが『維新が確たる証拠もないままに、市議や市職員を名指しした罪は重い。心証だけで疑惑があると決めつけ、潔白を証明しろとは無茶苦茶だ。』と論評したように、**今後の議会の質疑のあり方に、大きな宿題を残した事件**となりました。

一方きっかけが何であれ、コロナ禍でやるべきことが山積している中、結果として議会の貴重な時間を使ってしまったこと、市民の皆様に疑念を抱かせてしまったことや、ご心配をおかけしたことを、本当に申し訳なく思っています。その分は、**仕事でしっかりお返しして参ります**ので、今後ともどうぞよろしくお願いします。

出張市政報告会・市政相談

出張市政報告会、市政相談に伺います！
皆さまの集まりにお呼び立てください。
感染予防を万全にして駆けつけます！

ポスティングのお手伝い大募集！

このチラシをご近所に配布してください！
10枚くらいからで結構です。クリーンな活動にぜひご協力ください！